

2026年3月期

決算説明会

株式会社 **日本トリム**

証券コード：6788（東証プライム）

2026年5月14日

Contents

01 エグゼクティブ・サマリー

02 2026年3月期 業績概要

03 2027年3月期 業績計画

04 補足資料



01

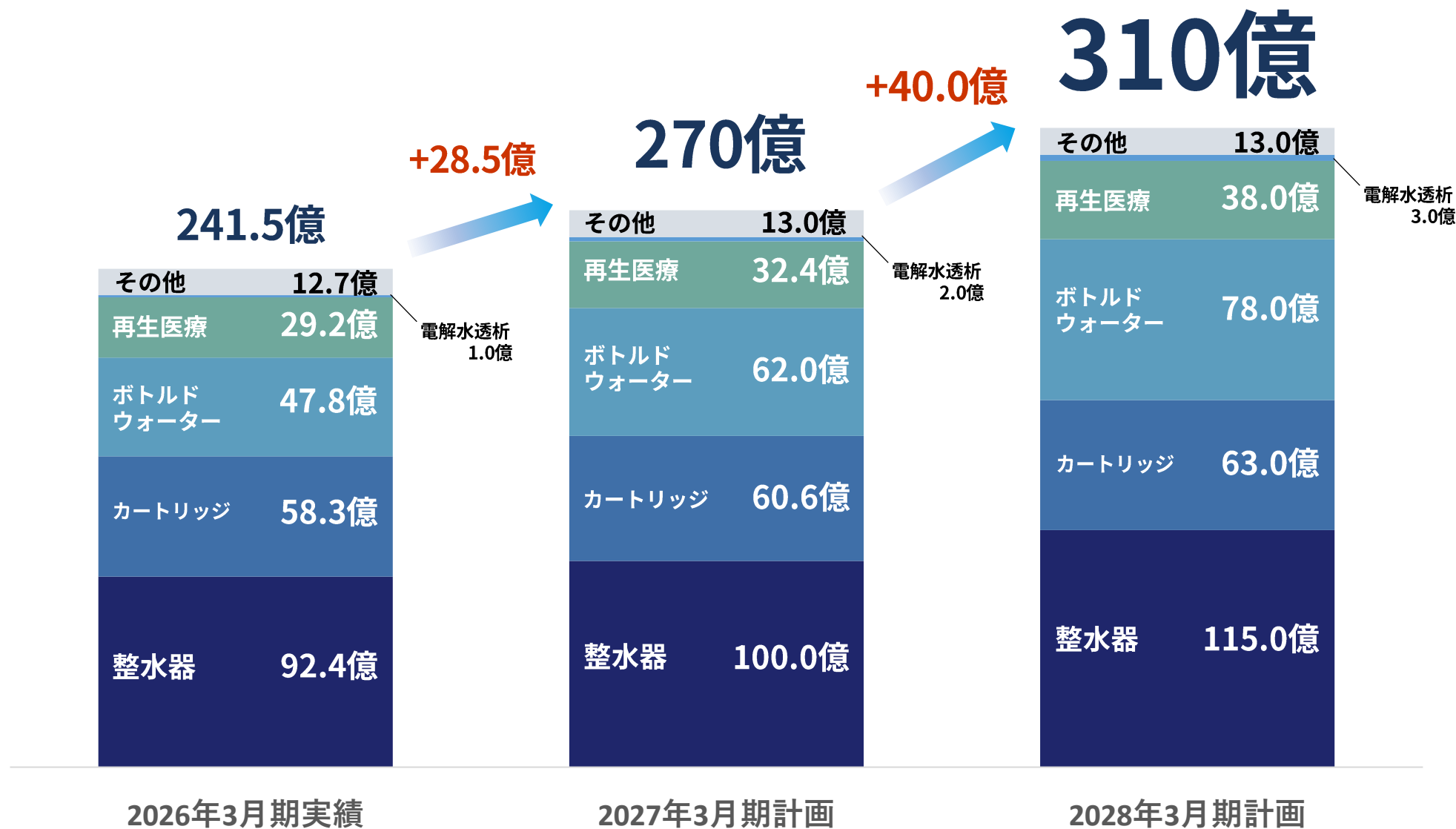


エグゼクティブ・サマリー

社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。

電解水素水の普及により、
グローバルに**予防医療**、
医療費削減へ貢献することが、
我々の使命





(単位：百万円)

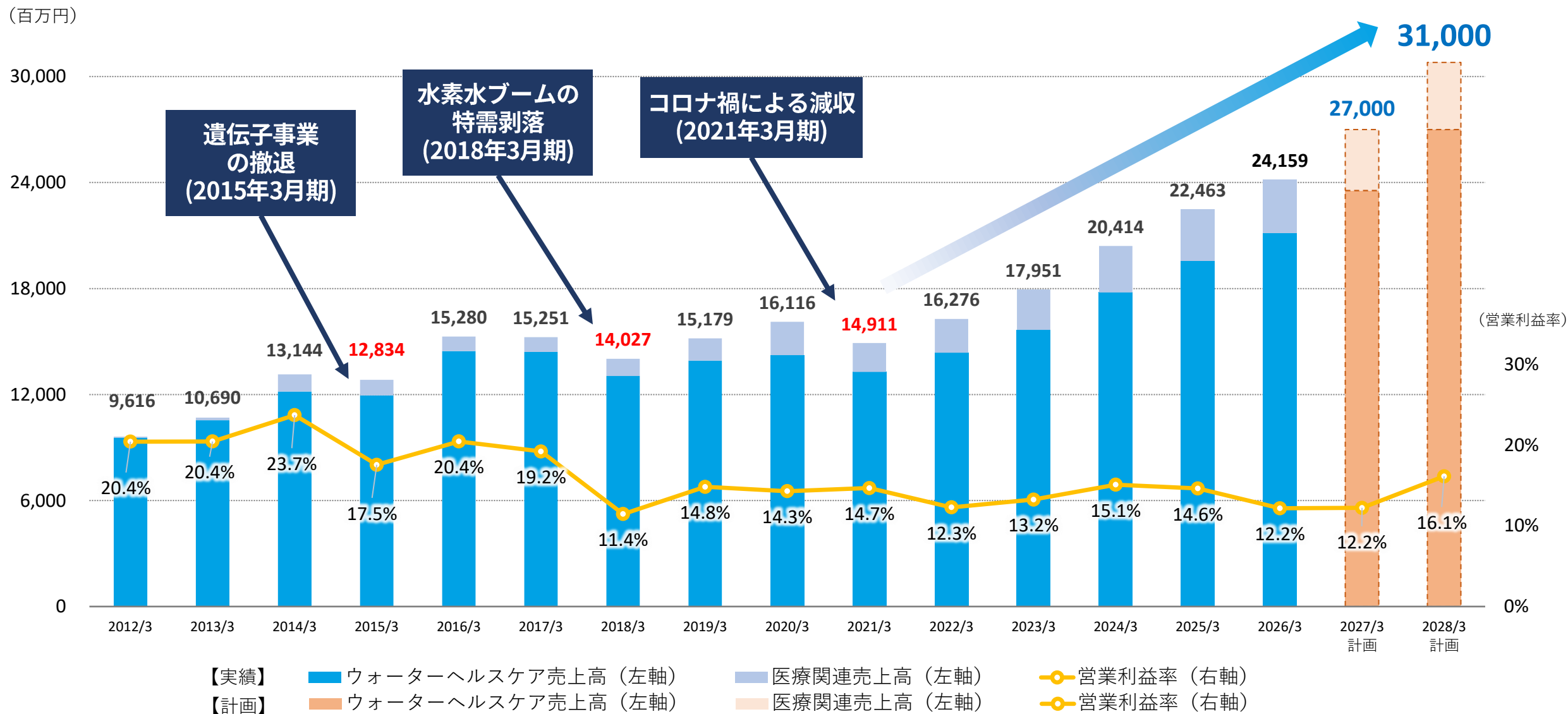
	2026年3月期	2027年3月期	前期比
売上高	24,159	27,000	+11.8%
営業利益	2,940	3,300	+12.2%
経常利益	3,147	3,500	+11.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,030	2,200	+8.3%

売上高に関するトピックス

- ①DS事業部（職域販売）の拡大 **今年度150名体制**
- ②ボトルドウォーター事業の更なる伸長 **前期比+30%**
- ③ステムセル シンガポール事業の稼働 **当期より連結予定**

利益面に関するトピックス

- ①人的資本への投資拡大
- ②整水器事業 石油関連原材料の上昇想定
- ③ボトルドウォーター事業の広告活動の更なる強化
- ④ボトルドウォーター事業のガロンボトル素材変更
- ⑤ステムセル シンガポールの事業開始初年度

5期連続増収、更なる成長へ

02



2026年3月期 業績概要

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比
売上高	22,463	24,159	+7.5%
営業利益	3,285	2,940	△10.5%
経常利益	3,535	3,147	△11.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,241	2,030	△9.4%

売上高に関するトピックス

- ① ボトルドウォーター事業の拡大 前期比 **+29%**
- ② 整水器売上、カートリッジ売上も堅調に推移

利益面に関するトピックス

- ① 売上構成比の変化による売上総利益率の低下
ボトルドウォーター事業の構成比19.8%（前期16.5%）
- ② 原材料価格の上昇
整水器の電極板に触媒として使用するプラチナ価格の上昇
- ③ 業容拡大のための人的資本への投資の強化
グループ人員数 前期末比+42名
- ④ ボトルドウォーター事業における広告活動の強化

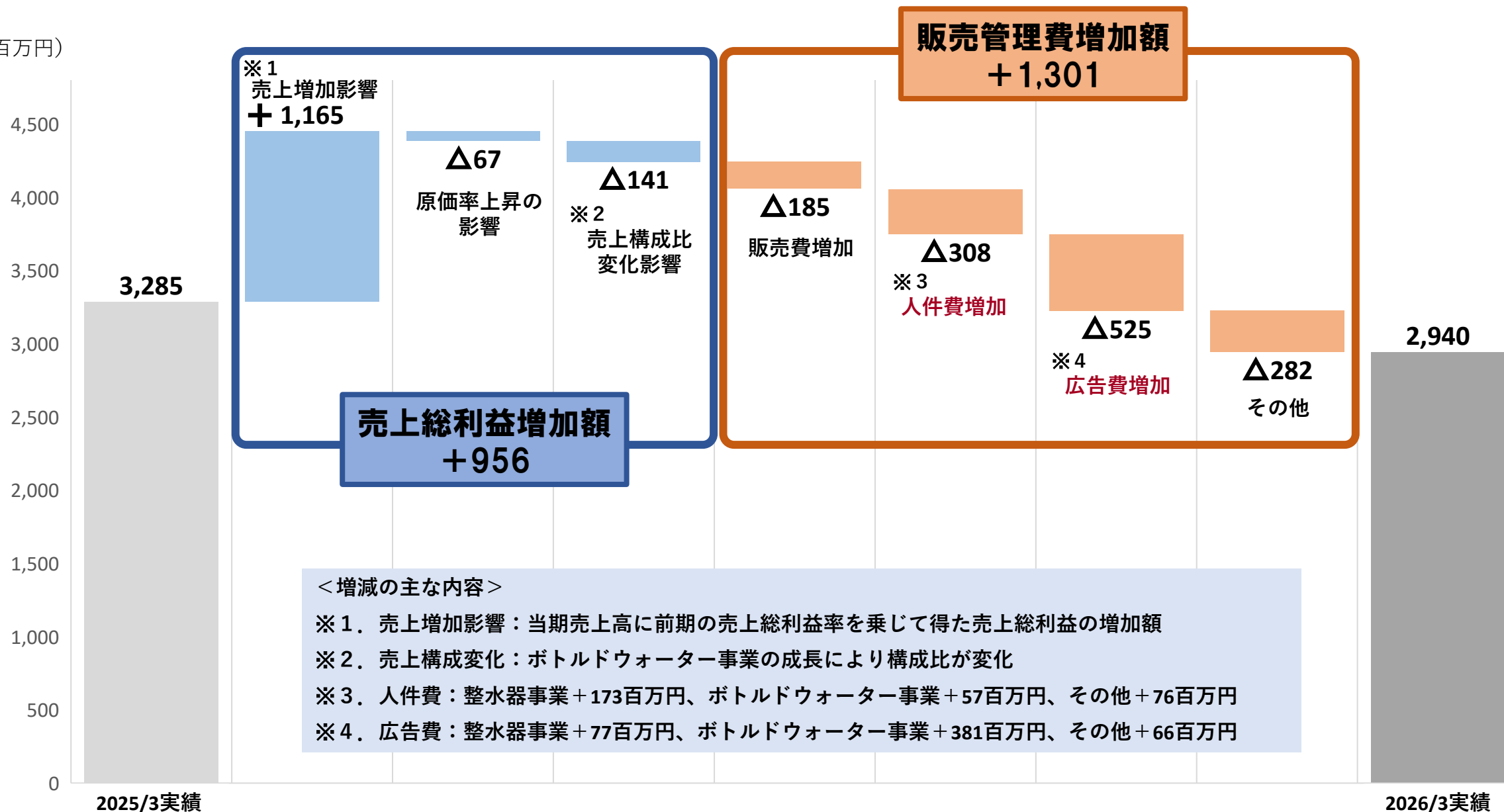
単位：百万円 (百万円未満切捨)	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	22,463	100.0%	24,159	100.0%	+1,695	+7.5%
売上原価	7,027	31.3%	7,766	32.1%	+739	+10.5%
売上総利益	15,436	68.7%	16,392	67.9%	+956	+6.2%
販売費及び一般管理費	12,150	54.1%	13,452	55.7%	+1,301	+10.7%
営業利益	3,285	14.6%	2,940	12.2%	△345	△10.5%
営業外収益	271	1.2%	259	1.1%	△12	△4.4%
営業外費用	21	0.1%	52	0.2%	+30	+140.5%
経常利益	3,535	15.7%	3,147	13.0%	△387	△11.0%
特別利益	149	0.7%	0	0.0%	△148	△99.4%
特別損失	214	1.0%	1	0.0%	△212	△99.2%
税金等調整前当期純利益	3,470	15.4%	3,146	13.0%	△323	△9.3%
法人税等	917	4.1%	873	3.6%	△43	△4.7%
非支配株主に帰属する当期純利益	311	1.4%	242	1.0%	△69	△22.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,241	10.0%	2,030	8.4%	△210	△9.4%
一株当たり当期純利益（円）	292.41円		269.58円		△22.83円	

2026年3月期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2025年3月期 実績		2026年3月期 実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
DS事業部（職域販売）	4,897	21.8%	5,092	21.1%	+194	+4.0%
HS事業部（取付・紹介販売）	1,419	6.3%	1,361	5.6%	△57	△4.1%
SS事業部（店頭催事販売）	549	2.4%	537	2.2%	△12	△2.2%
業務部（メンテナンス）	332	1.5%	349	1.4%	+17	+5.1%
リプレイス部門	436	1.9%	480	2.0%	+43	+10.1%
WEB販売部門	421	1.9%	447	1.9%	+26	+6.4%
MS事業部（卸・OEM）	1,020	4.5%	973	4.0%	△47	△4.6%
整水器売上合計	9,077	40.4%	9,242	38.3%	+165	+1.8%
カートリッジ	5,602	24.9%	5,836	24.2%	+233	+4.2%
広州多寧健康科技有限公司	147	0.7%	124	0.5%	△23	△15.9%
PT. SUPER WAHANA TEHNO（ボトルドウォーター）	3,704	16.5%	4,785	19.8%	+1,080	+29.2%
その他	1,033	4.6%	1,146	4.7%	+112	+10.9%
ウォーターヘルスケア事業	19,565	87.1%	21,135	87.5%	+1,569	+8.0%
再生医療関連事業	2,789	12.4%	2,921	12.1%	+132	+4.7%
電解水透析事業	108	0.5%	102	0.4%	△6	△5.6%
医療関連事業	2,898	12.9%	3,024	12.5%	+126	+4.4%
連結合計	22,463	100.0%	24,159	100.0%	+1,695	+7.5%

2026年3月期 営業利益の増減内容

(百万円)



03



2027年3月期 業績計画

2027年3月期 連結業績予想

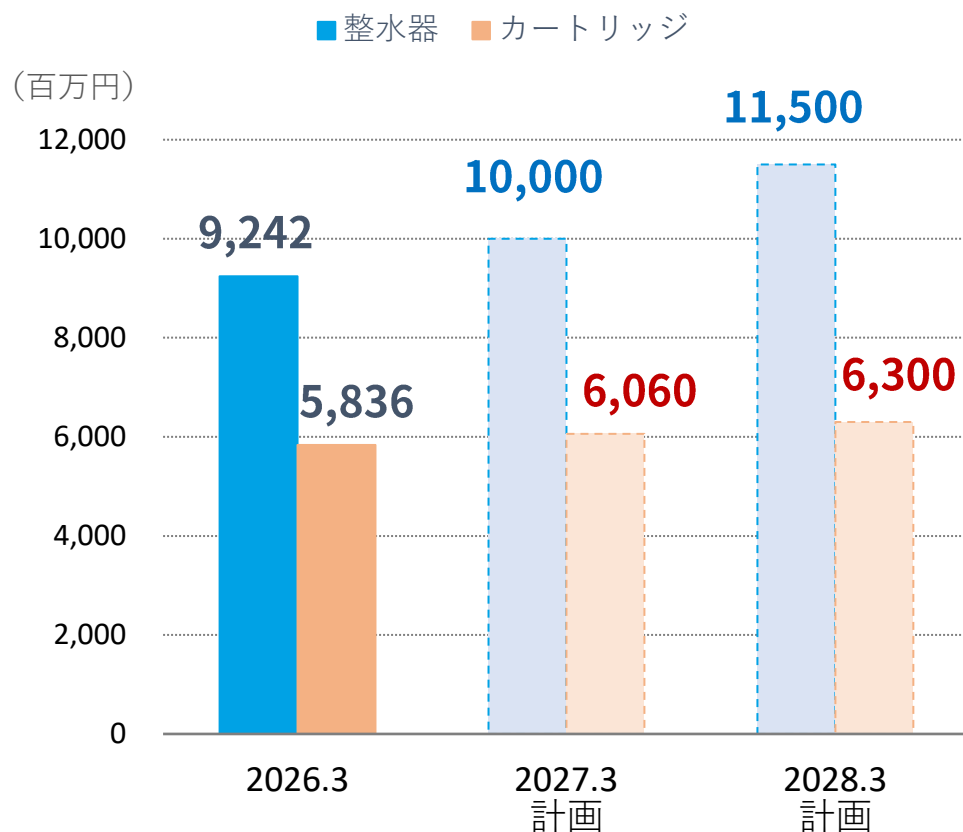
単位：百万円 (百万円未満切捨)	2026年3月期		2027年3月期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	24,159	100.0%	27,000	100.0%	+2,840	+11.8%
売上原価	7,766	32.1%	9,160	33.9%	+1,393	+17.9%
売上総利益	16,392	67.9%	17,840	66.1%	+1,447	+8.8%
販売費及び一般管理費	13,452	55.7%	14,540	53.9%	+1,087	+8.1%
営業利益	2,940	12.2%	3,300	12.2%	+359	+12.2%
営業外収益	259	1.1%	227	0.8%	△32	△12.5%
営業外費用	52	0.2%	27	0.1%	△25	△48.4%
経常利益	3,147	13.0%	3,500	13.0%	+352	+11.2%
特別利益	0	0.0%	—	—	△0	—
特別損失	1	0.0%	—	—	△1	—
税金等調整前当期純利益	3,146	13.0%	3,500	13.0%	+353	+11.2%
法人税等	873	3.6%	1,015	3.8%	+141	+16.2%
非支配株主に帰属する当期純利益	242	1.0%	285	1.1%	+42	+17.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,030	8.4%	2,200	8.1%	+169	+8.3%
一株当たり当期純利益（円）	269.58円		292.06円		+22.48円	

2027年3月期 セグメント別売上高予想

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
DS事業部（職域販売）	5,092	21.1%	5,644	20.9%	+551	+10.8%
HS事業部（取付・紹介販売）	1,361	5.6%	1,451	5.4%	+89	+6.5%
SS事業部（店頭催事販売）	537	2.2%	612	2.3%	+74	+13.9%
業務部（メンテナンス）	349	1.4%	377	1.4%	+27	+7.8%
リプレイス部門	480	2.0%	383	1.4%	△97	△20.3%
WEB販売部門	447	1.9%	453	1.7%	+5	+1.1%
MS事業部（卸・OEM）	973	4.0%	1,080	4.0%	+106	+11.0%
整水器売上合計	9,242	38.3%	10,000	37.0%	+757	+8.2%
カートリッジ	5,836	24.2%	6,061	22.4%	+224	+3.8%
広州多寧健康科技有限公司	124	0.5%	140	0.5%	+15	+12.8%
PT. SUPER WAHANA TEHNO（ボトルドウォーター）	4,785	19.8%	6,200	23.0%	+1,414	+29.6%
その他	1,146	4.7%	1,159	4.3%	+12	+1.1%
ウォーターヘルスケア事業	21,135	87.5%	23,560	87.3%	+2,424	+11.5%
再生医療関連事業	2,921	12.1%	3,240	12.0%	+318	+10.9%
電解水透析事業	102	0.4%	200	0.7%	+97	+95.2%
医療関連事業	3,024	12.5%	3,440	12.7%	+415	+13.7%
連結合計	24,159	100.0%	27,000	100.0%	+2,840	+11.8%

【2028年3月期目標】 整水器 115億円、カートリッジ 63億円

整水器、カートリッジ売上高の推移



①職域販売部門の拡大に注力

今年度中に営業人員150名体制

②代理店網の拡充、新規チャネル開拓

③海外（アジア地域）の取引拡大

④営業支援となる研究の推進

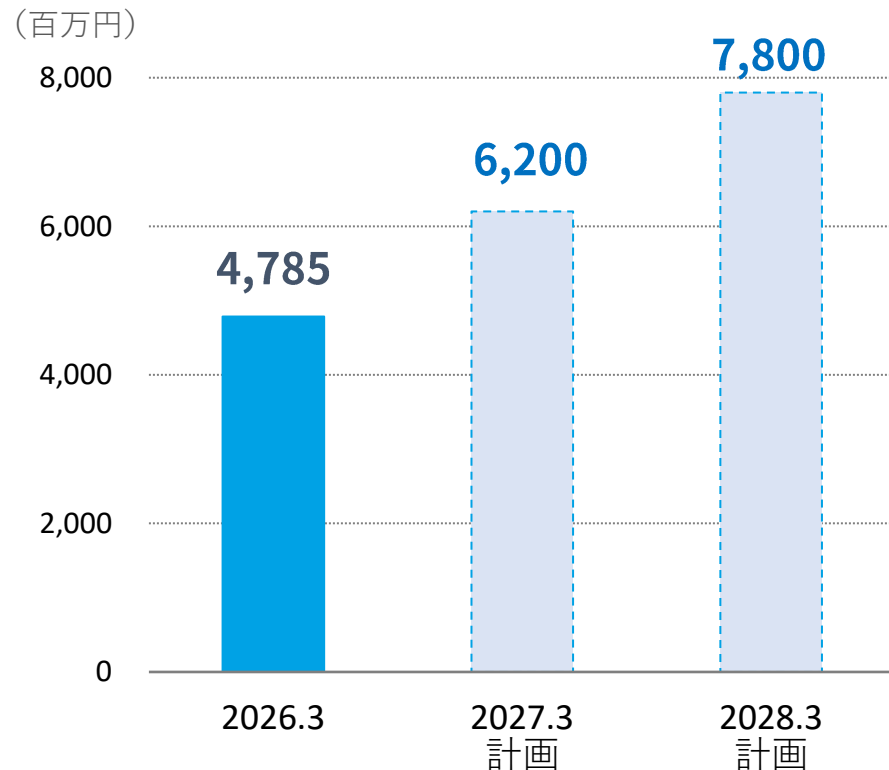
⑤新製品の開発

↓ ↓ ↓

顧客基盤の拡大 ⇒ カートリッジ売上拡大

【2028年3月期目標】売上高 78億円

売上高の推移



①将来売上予測を大幅見直し

売上高 1 兆ルピア (91億円 0.0091円/ルピア)

達成時期 2034年度 ⇒ **2028年度に前倒し**
(2029年3月期)

②広告・マーケティング施策の更なる強化

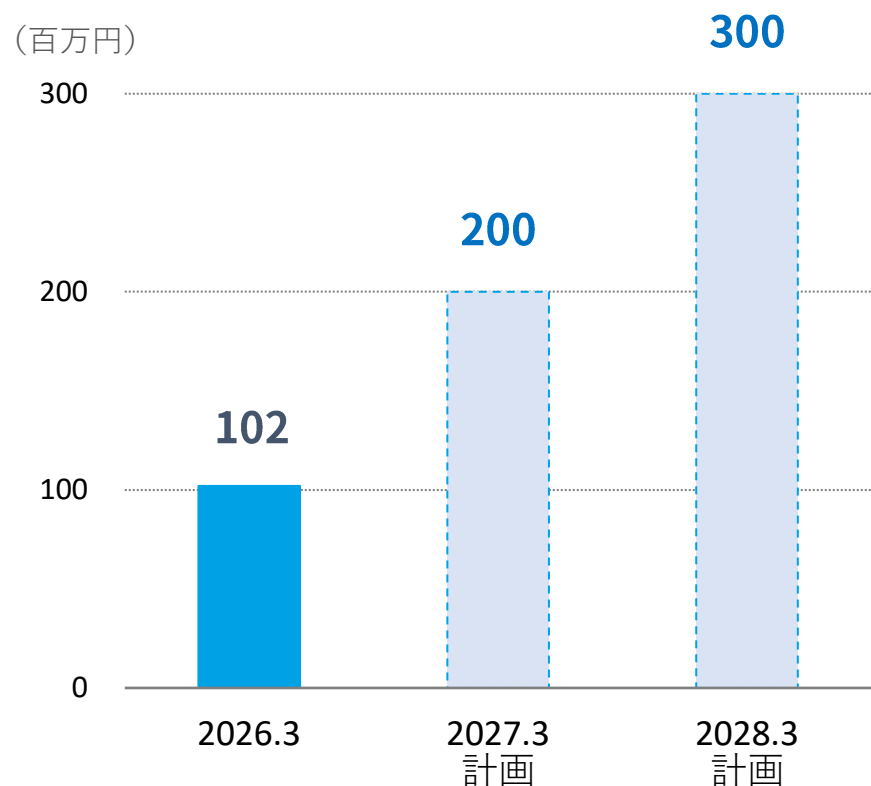
③ローカル市場（地場の小売店舗）の開拓

④ガロンボトル素材変更（PC⇒PET）による 安全・安心ニーズへの対応

⑤生産体制の強化／新工場建設による生産量、 生産効率向上

【2028年3月期目標】売上高 3億円

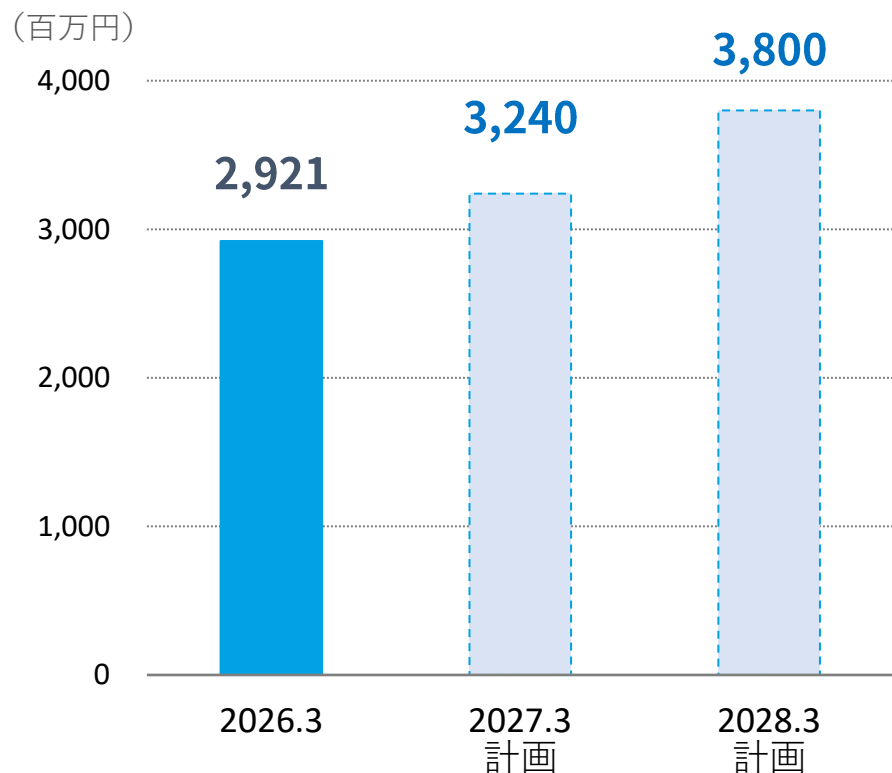
売上高の推移



- ①透析、腎臓関連学会、研究会等への積極的展開
- ②医師、技師等とのネットワーク強化
- ③血液透析関連企業との連携強化
- ④導入ハードルを下げる機器開発（設置環境、価格）
- ⑤医療機器化を目的とした研究開発

【2028年3月期目標】売上高 38億円

売上高の推移



①国内事業基盤の強化

- ・医療機関ネットワークとの連携強化
- ・Web・SNS・リアルイベントによるマーケティング強化
- ・さい帯、さい帯血のW保管の必要性を訴求

②海外（東南アジア）展開

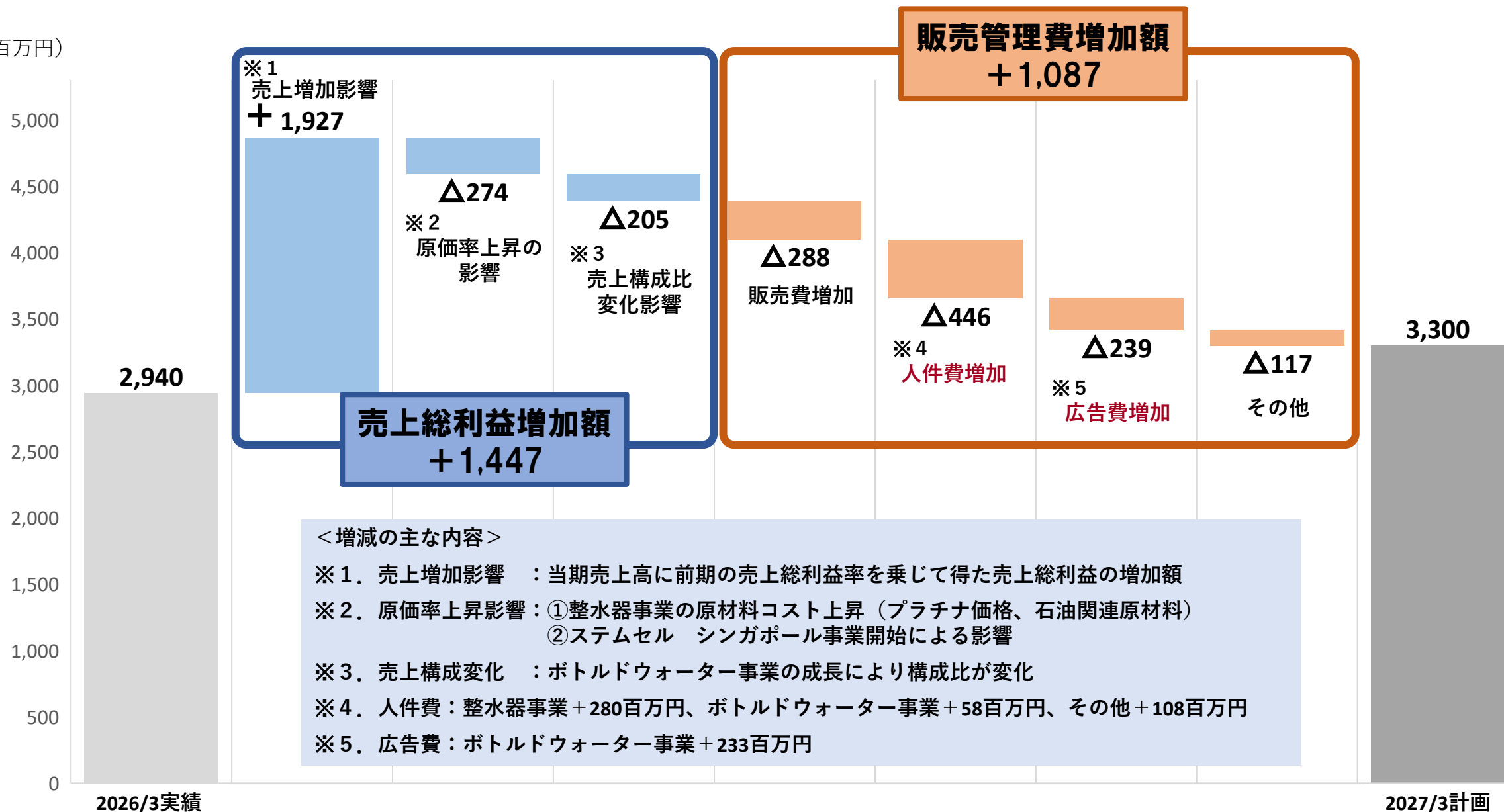
- ・シンガポールを起点とした東南アジア市場の開拓
⇒細胞処理・保管センターは2026年5月中の完成
保健省の事業許可を得て当期半ばより本格稼働開始
- ・インドネシア（ジャカルタ近郊）でも事業開始を予定

③細胞の活用領域の拡大

- ・臨床研究、米国EPAへの支援の継続
- ・ファミリー上清、自家iPS細胞、第二種再生医療

2027年3月期 営業利益予想の増減内容

(百万円)



資本政策の 基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランス良く実現し、株主価値の持続的向上を目指す。

●資本効率性

ROE実績
(自己資本利益率)

8.5 %

- ・ 資本コスト8.0%を安定的に上回る実績
- ・ ROE10%以上を目標に業績向上を推進
- ・ 事業領域拡大に向けた人的資本への投資
- ・ 研究開発活動の積極的な推進

●株主還元

DOE基準
(株主資本配当率)

4 %

- ・ DOE 4 %を基準に**累進的な配当**を実施
- ・ 安定的かつ継続的な株主還元を意識
- ・ 2026年3月期は自己株式25万株を取得

●株主価値向上

PBR実績
(株価純資産倍率)

1.34 倍

- ・ PBRの中長期的な向上への取り組み
- ・ 2028年3月期 中期経営計画の達成
- ・ IR活動の強化、株主との対話実現
- ・ M&Aによる新規事業への投資

DOE基準
(株主資本配当率)

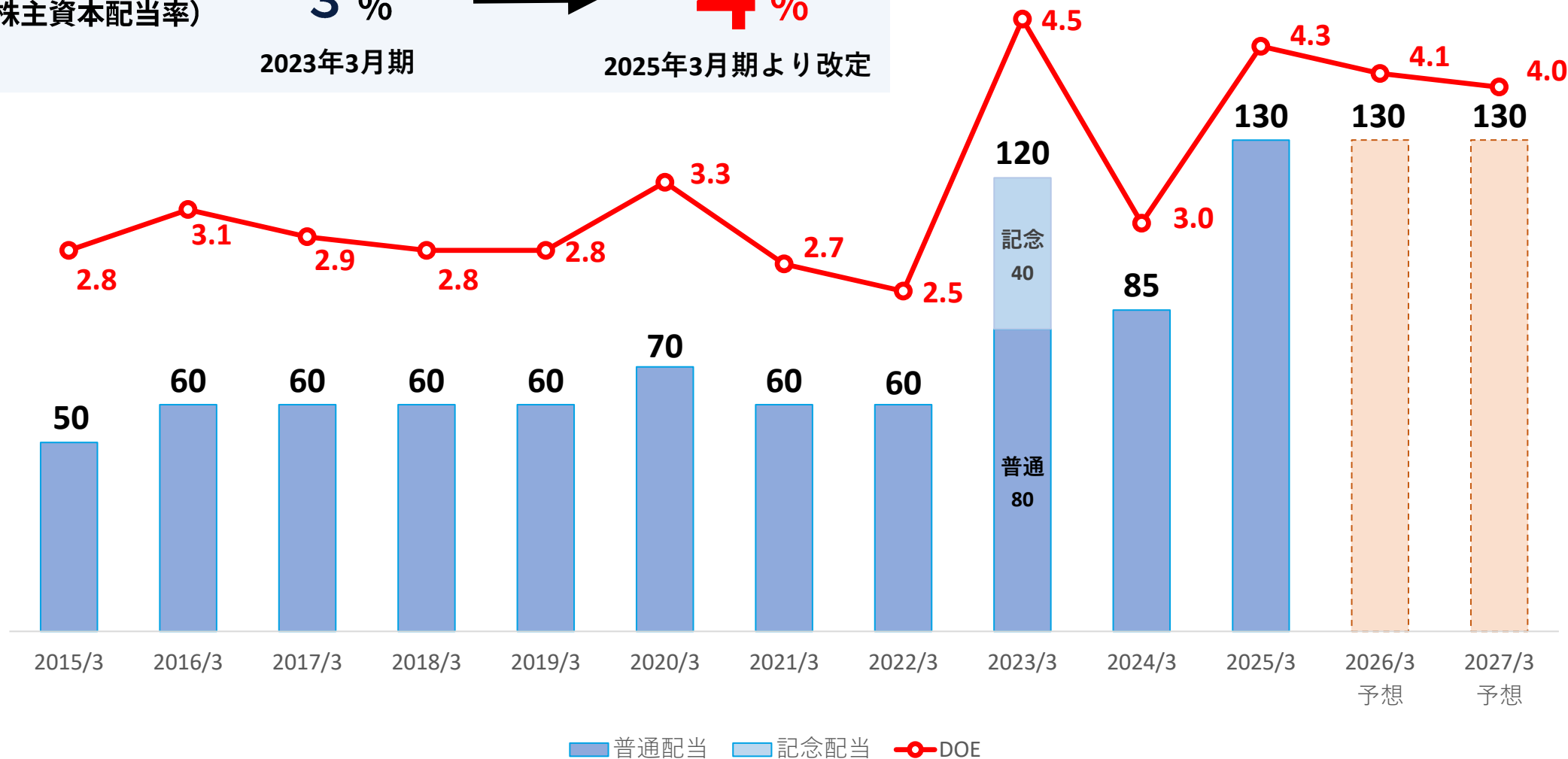
3 %

2023年3月期



4 %

2025年3月期より改定



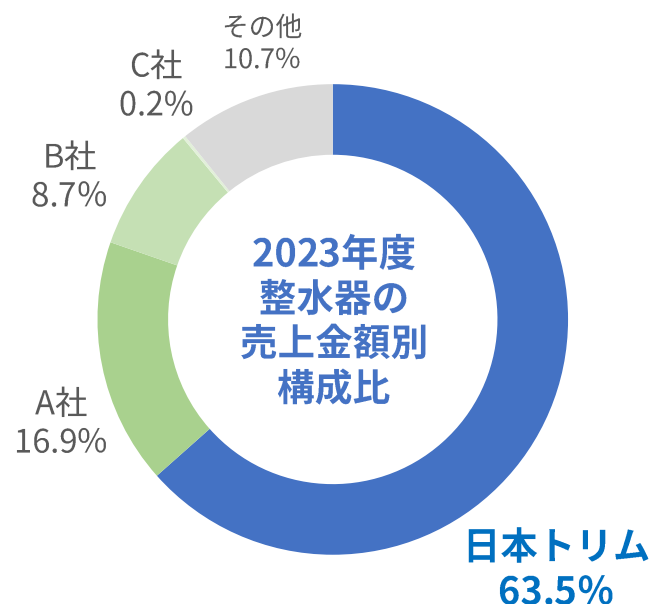
04



補足資料

日本トリムは電解水素水の可能性を追求し、健康の維持・増進に貢献する企業

1 整水器における国内圧倒的トップシェア



出典：株式会社矢野経済研究所
「2025年版 浄水器・整水器市場の実態と展望」

2 電解水素水の可能性の拡大



3 電解水素水に関する共同研究を様々な機関と推進



電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開



大学・大学病院

研究機関



新たな可能性を開拓

効果のエビデンスを蓄積

直近に発表した論文

2025年度

- 電解水素水が抗がん剤感受性を高める可能性を細胞実験で示唆（早稲田大学）

2024年度

- 電解水透析実態調査で1年後の生命予後リスク低減（電解水透析研究会）
- 電解水透析の透析疲労を改善する可能性（東北大学、聖路加国際病院）
- ナノファブリック型新規高性能白金電極触媒開発（東京大学）

2023年度

- 電解水素水の多様な利点に関する総説（理化学研究所）
- 包括的腎臓病対策研究の総説（東北大学、聖路加国際病院）
- メタボリックシンドロームと予備軍の腹囲を減少（高知大学、須崎市）

2022年度

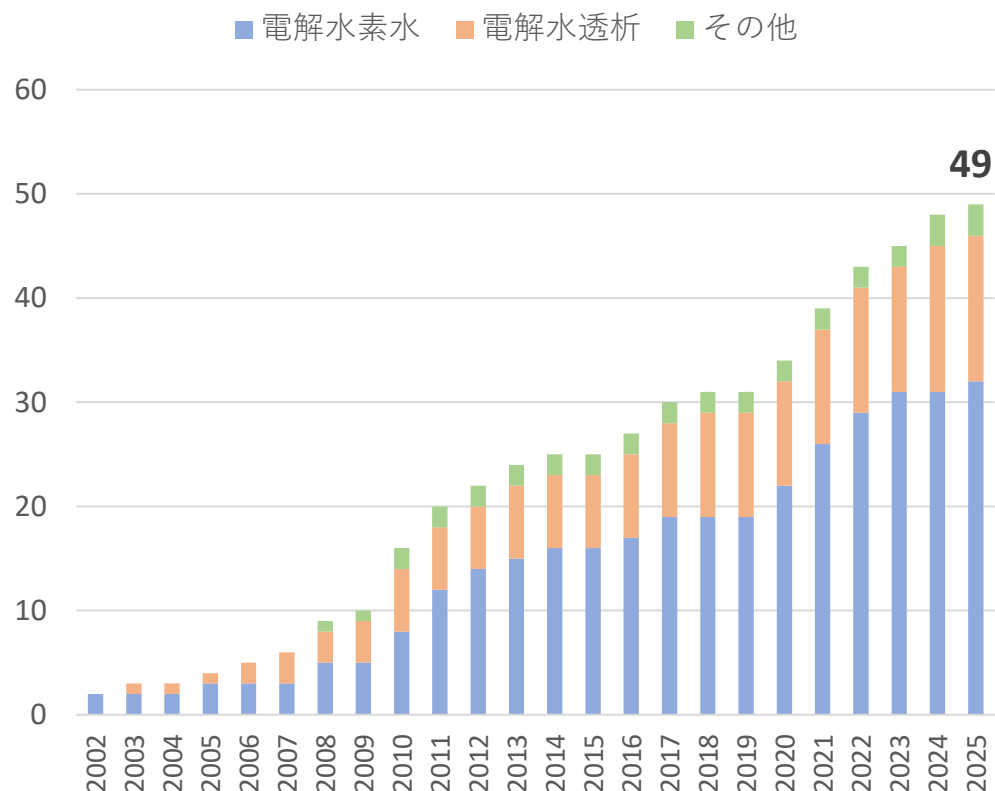
- 酸化ストレスへの有効性（理化学研究所）
- 炎症性腸疾患の症状を緩和（理化学研究所）
- 重度疲労感低減作用を確認（聖路加国際病院、日鋼記念病院）

2021年度

- 重度の透析関連疲労感をほぼ消失（聖路加国際病院、愛仁会 井上病院、疲労科学研究所、理化学研究所）
- インスリン抵抗性高値を改善（東北大学）
- アルコールによる肝細胞傷害を軽減するメカニズム解明（早稲田大学）

電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開

電解水素水関連発表論文 累計数



※2026年度は2報投稿中、5報投稿予定

当社と共同研究を行う主な大学・研究機関

理化学研究所

東京大学未来ビジョン
研究センター

立命館大学

東北大学

帯広畜産大学

九州大学

高知大学

神戸大学

2023年4月
当社と共同でエッセンシャルヘルスケア
科学に関する共同研究講座を新設

当社の発表論文の詳細は、下記をご参照ください。

[https://www.nihon-trim.co.jp/
research/thesis_water/](https://www.nihon-trim.co.jp/research/thesis_water/)





健康経営優良法人2026（2020年より7年連続）

電解水素水「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」

社内取組：健康経営を成長戦略と捉え推進

- ・医療費削減／労働生産性向上／経営の効率化
社員の離職率低下
- ・管理本部主導で健保、産業医と連携
健康経営責任者：代表取締役社長
健康経営推進責任者：管理本部担当役員

社外取組：企業の健康経営・福利厚生の一助として訴求

企業理念：「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」

【マテリアリティ（重要課題）】



本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。